

令和4(2022)年度

飯田市当初予算(案)の概要

長野県飯田市

目 次

1 令和4(2022)年度当初予算のポイント	… 1～2
1. 新型コロナウイルス感染症対策の推進	… 3
2. 市民活動の再興	… 4
3. 地域経済の再生・地域経済循環の促進	… 5
4. 移住に向けた支援の強化と観光振興	… 6
5. 子育て環境・教育環境の充実	… 7
6. 市民総健康の推進と地域福祉の充実	… 8
7. ゼロカーボンシティに向けた実践	… 9
8. リニア・三遠南信時代を支える基盤整備	… 10
9. 災害や社会リスクに備えるための環境整備	… 11
10. デジタル技術の活用による市民サービスの向上	… 12
2 「予算編成の基本方針」に基づく主な事業(戦略計画における基本目標ごとの主な事業)	
基本目標1 稼ぎ、安心して働ける「魅力ある産業」をつくる	… 13～14
基本目標2 飯田の魅力を発信し、つながる人を増やし、飯田市への人の流れをつくる	… 14～15
基本目標3 “結いの心”に根ざす教育を実践し、豊かな心とリニア時代を生きる力を育む	… 15
基本目標4 豊かな「学びの土壌」を活かした「学習と交流」を進め、飯田の自治を担い、可能性を広げられる人材を育む	… 15～16
基本目標5 文化・スポーツを通じて人と地域の輝き・うるおいをつくる	… 16
基本目標6 結婚・出産・子育ての希望をかなえる	… 17
基本目標7 「市民総健康」と「生涯現役」をめざす	… 17～18
基本目標8 共に支え合い、自ら行動する地域福祉を充実させる	… 18
基本目標9 20地区が輝く生き活きとした地域づくりを地域主体に進める	… 19
基本目標10 個性を尊重し、多様な価値観を認め合い、活動の場を広げる	… 19～20
基本目標11 地球環境への配慮が当たり前の暮らしとまちづくりの推進	… 20
基本目標12 災害や社会リスクに備え、社会基盤を強化し、地域防災力の向上を図る	… 20～21
基本目標13 リニア・三遠南信時代を支える都市基盤を整備する	… 21
その他 その他特筆すべき取組	… 22
3 一般会計・各会計歳入歳出予算	
令和4(2022)年度一般会計 予算額	… 23
令和4(2022)年度飯田市各会計予算の総額	… 24～25
令和4(2022)年度一般会計 歳入(主な内容と増減内訳)	… 26～27
令和4(2022)年度一般会計 目的別歳出(主な内容と増減内訳)	… 28～29
令和4(2022)年度一般会計 性質別歳出(主な増減内訳)	… 30～31
4 地方債残高の推移	… 32
5 基金残高の推移	… 33

1 令和4(2022)年度当初予算のポイント

～ コロナ禍を乗り越え、「市民活動」や「地域経済」の再興を図る ～

令和4年度当初予算は、新型コロナウイルス感染症の影響により停滞している市民活動や地域経済の再興を図るべく、「令和4年度予算編成の基本方針」における基本的な考え方にに基づき編成しました。

基本的な考え方

- ① 新型コロナウイルス感染症の影響を見定めつつ、新たな生活様式の定着や社会経済活動の回復を図り、「日常」を取り戻すため、地域団体と連携しながらコロナ禍からの再興を図ります。
- ② 「いいだ未来デザイン2028(飯田市総合計画)」中期4年間の2年目にあたり、未来ビジョンに掲げる「目指すまちの姿」の実現に向けて、新たな取組にも積極的にチャレンジします。
- ③ 飯田市の長期的都市像である「環境文化都市」を念頭に、持続可能な地域の発展のために「環境」の視点を明確にし、あらゆる政策を展開していきます。
- ④ 信州大学の新学部の設置について、当地域への誘致活動を強力に展開していきます。
- ⑤ 飯田市の「今後10年間の財政見通し」を踏まえ、限られた財源の中で市民サービスの維持、向上を図りつつ、安定的で健全な行財政運営のための行財政改革に取り組みます。

令和4年度は、これら基本的な考え方にに基づき、**コロナ禍を乗り越え、「日常」を取り戻すため、充実した検査・医療体制を維持する**など市民の命と生活を守りつつ様々な事業を着実に実行していきます。

特に、コロナ禍で停滞している各種地域行事、集会、お祭り、NPO活動など市民活動の再興に向けて、5月にオープンを迎える(仮称)飯田駅前プラザ公共空間(創発エリア)を**ムトスの精神に基づく市民活動の新たな拠点とし、地域の活力を生み出すための市民活動の自律的な再開を支援**していきます。

また、コロナ禍で冷え込んだ地域経済の再生に向けては、回復が遅れている業種への直接的な支援をしつつ、**地域内外から稼いだ所得を地域内で循環させる「地域経済循環」の視点を取り入れた仕組みづくりを進めて**いきます。

信州大学新学部の当地域への設置を目指すにあたっては、官民一体で組織する「**信州大学新学部誘致推進協議会**」と連携し、**地域全体の機運を高め、実現に向けた誘致活動を推進**します。

予算規模

～ 一般会計の予算規模は過去最大 ～

○ 一般会計	477億5,000万円	(前年度比+0.6%	…令和3年度	474億7,000万円)
○ 特別会計	503億7,510万円	(前年度比+1.9%	…令和3年度	494億2,950万円)
○ 全会計	981億2,510万円	(前年度比+1.3%	…令和3年度	968億9,950万円)

令和4年度の一般会計の当初予算は、過去最大規模となりました。これは、**本格化するリニア駅周辺関連道路事業に係る用地買収や物件補償のほか、通学路の緊急安全対策、指定避難所等の環境整備**など様々な課題に対応するための予算を計上したことによります。

飯田市の今後10年間には、新文化会館建設など多くの大規模事業が予定されていますが、公表した「今後10年間の財政見通し」を踏まえ、安定的で健全な行財政運営に努める中で、リニア時代を見据えたまちづくりに向けて必要な投資と公共施設を安全・安心・快適に活用していく長寿命化の取組の両側面から、計画的に建設事業を進めていきます。



コロナ禍を乗り越え、「市民活動」や「経済活動」の再興を図る

1. 新型コロナウイルス感染症対策の推進

予算額
1億6,929万円

- ・ 新型コロナウイルス感染症ワクチン3回目の接種
- ・ 抗原定性検査(簡易キット)による感染防止対策 ・ 感染症検査への補助

2. 市民活動の再興

予算額
1億550万円

- ・ (仮称)飯田駅前プラザ公共空間(創発エリア)の活用
- ・ 団体等の多様なチャレンジ活動の支援強化 ・ お祭り等の開催に向けた支援

3. 地域経済の再生・地域経済循環の促進

予算額
2,429万円

- ・ 地域産業の高付加価値化の推進 ・ 信州大学との連携強化
- ・ 地域に根差した農林業の推進 ・ デジタル技術の活用によるにぎわいのあるまちづくりの推進

4. 移住に向けた支援の強化と観光振興

予算額
7,519万円

- ・ 移住に向けた効果的な情報発信と相談体制の充実
- ・ アフターコロナを見据えた観光振興への取組

5. 子育て環境・教育環境の充実

予算額
9,149万円

- ・ 保育・教育人材確保策の強化 ・ 誰ひとり取り残さない学習支援体制の強化
- ・ ヤングケアラーがいる家庭への支援

6. 市民総健康の推進と地域福祉の充実

予算額
1,436万円

- ・ 青壮年期を中心とした健康増進の取組の強化 ・ 障がい者の社会参加の推進
- ・ 介護予防(重度化防止)の推進 ・ 楽しみながら健康を自己管理できる仕組みの研究

7. ゼロカーボンシティに向けた実践

予算額
3,369万円

- ・ 環境文化都市構築に向けたプラットフォームの設置
- ・ 地域との協働によるマイクログリッドの実現に向けた取組
- ・ 住宅の脱炭素化の推進 ・ 環境学習の推進

8. リニア・三遠南信時代を支える基盤整備

予算額
18億9,588万円

- ・ 駅前広場、魅力発信施設、二次交通などの整備に向けた体制の構築
- ・ 駅周辺関連道路等の整備

9. 災害や社会リスクに備えるための環境整備

予算額
6億1,661万円

- ・ 避難施設における快適な生活環境の確保
- ・ 通学路の安全確保 ・ 避難の実効性を高めるための取組の強化

10. デジタル技術の活用による市民サービスの向上

予算額
4,919万円

- ・ デジタル化等による行政サービスの向上

1. 新型コロナウイルス感染症対策の推進

令和4年度は、新型コロナウイルス感染症の影響を見定めつつ、「コロナ禍を乗り越え、新たな生活様式の定着、社会活動の回復を図り、『日常』を取り戻す年」と位置付けました。市民の皆さんの命と生活を守るため、充実した検査体制の維持、更なる拡充を図ります。

新型コロナウイルス感染症ワクチン3回目の接種

1億3,896 万円

国、県、地域医療機関等と連携し、希望する市民の皆さんに対し、ワクチン接種を円滑に実施します。

- ・新規接種対象者及び未接種者への接種（1・2回目接種）
- ・追加接種（3回目接種）対象者への接種



抗原定性検査（簡易キット）による感染防止対策

2,438 万円

令和3年度より取組を始めた簡易キットの無料配布による新型コロナウイルス感染症抗原定性検査は、感染者の早期発見、感染拡大の予防に資する効果が大いものとして、令和4年度もこれを継続します。

【対象となる方】

- ・飯田市内にお住まいの方
- ・飯田市内の事業所、学校等に勤務する方

【使用例】

- ・身近に陽性者等が確認され、不安を感じる方
- ・他圏域との往来があった方（通勤、通学、帰省、旅行等）

など



＜配布する簡易キット＞



【申込方法】

- ・パソコン、スマートフォン等によるネット申込
 - ・申込用紙のFAX、郵送による書面申込
 - ・申込受付後、簡易キットは申請者の自宅または事業所に郵送します。
- 【その他】
- ・配布する簡易キットは「研究用」となります。
 - ・簡易キットの感度は飯田保健所や医療機関において確認しています。

感染症検査への補助

595 万円

抗原定量検査の検査費用について、一部を助成し、検査を受けやすい環境を整えます。

【対象となる方】

- ・高齢者（65歳以上）
- ・基礎疾患のある方
- ・市内に事業所がある介護医療障がい福祉施設で従事する方



【拡充】市内の施設に勤める保育従事者等

- 【だ液による検査方法】
- ・検査の30分前から飲食・歯磨き・喫煙を控える
 - ・喉の奥の方から、だ液を出して2ml 貯める



【補助率等】

- ・1/2（上限4,000円）ひとり年2回まで

【対象となる検査】

- ・抗原定量検査

【検査医療機関等】

- ・輝山会記念病院
- ・健和会病院
- ・下伊那厚生病院
- ・瀬戸脳神経外科病院
- ・中部公衆医学研究所

（五十音順）

2. 市民活動の再興

コロナ禍において制約を受けている市民活動について、「ムトス」精神に基づく活動を新たな形で支援するために、(仮称)飯田駅前プラザ公共空間(創発エリア)のオープンを契機に支援体制を強化します。また、各種イベントや祭等の開催について実施方法を検討しつつ支援を行います。

(仮称)飯田駅前プラザ公共空間(創発エリア)の活用 管理運営経費 6,392万円
各種事業費 1,552万円



民間事業者が飯田駅前に整備する新施設の活用により、都市機能の集積の促進を図り、賑わいの再生に取り組みます。



飯 田市民館機能

住民の自由で主体的な学習活動の支援を通して**地域づくりを担う人材を育む役割を果たします。**

(仮称)創発コーディネーター(※)と連携して、若者等生み出す新たな活動を支援しながら**地域とつながるきっかけをつくり**ます。

図 書館機能

高校生や若い世代が気軽に本に親しみ、**本や情報の提供を通して学習交流活動の支援が得られる場**として、中央図書館の**サテライト機能**を設置します。中央図書館と図書館システムを結び、貸出・返却・予約などを行います。

平 和学習機能

この地域の戦争に関わる歴史的資料を展示し、戦争経験を風化することなく後世へ語り継ぐとともに、特に、**次世代を担う高校生や若者へ平和・人権・多文化学習講座**をとおして**平和の尊さを伝え、よりよい社会をつくる人材育成をめざ**します。

女 性活躍応援機能

新たな活動をしたいという思いはあるがどうしたら良いか躊躇している女性、自身のライフプラン・キャリアプランをどう描こうか考えている女性などが、(仮称)創発コーディネーターに**気軽に相談できる場**とします。

「ヒト」「モノ」「コト」が集まる 創発の場



- ▶ JR飯田駅前の好立地を生かし、多くの人々が利用しやすくなる施設
- ▶ 学習・交流・多文化共生・ムトスマちづくりなどの活動を支援する行政機能を複合化し、相乗効果が発揮できる施設
- ▶ 飯田市の魅力の向上と、多様な人々がつながり、交流を実感できる施設
- ▶ ムトスの精神を活かし、内外の人々の力や知見アイデアを結び、新しい価値の創造にチャレンジできる施設

※ (仮称)創発コーディネーターとは？

☞ 施設内に配置され、地域や団体、企業、人との結び役を担い、多様な人が集まる中から生まれた新たな発想による活動を支援するコーディネーターです。

次 世代学習交流支援機能

(仮称)創発コーディネーターを配置し、高校生や青年と地域や団体、企業との結び役を担います。**学輪IIDA等で訪れた大学生・教授等との交流の場、つながれる場**とし、探求的な学びができる場としていきます。

学 習支援機能

学習等に不安を抱えている児童生徒を支援するため、**個に寄り添った学習活動を民間の支援組織と連携して支援する機能**や、**安心できる居場所の提供**など、**多様で選択的機能**を導入します。

多 文化共生推進機能

外国人住民の皆さんにとっても、気軽にアクセスしやすい場所にあるため、**外国人住民の皆さんが日常的に集まり、多様な市民と交流し協働的な活動することにより、多文化共生を進めて**いきます。

市 民のムトスマちづくり活動の交流・支援機能

市民活動組織、高校生や外国人住民、公民館の利用者等、多様な市民の交流が新たな活動を生み出す。**活動の継続や活性化のきっかけをつかめる機能を高め、市民のムトスマちづくり活動のさらなる推進**を図ります。

内 外の連携・交流推進機能

日常的に飯田の文化やイメージを発信する場、まちへの回遊を促すXR技術を活用した拠点機能を整備します。地域の交流機能が促進され、関係人口の創出・拡大へつながっていくことが期待されます。

団体等の多様なチャレンジ活動の支援強化 1,056 万円

☞ まちづくりに積極的に関わろうとする多様なチャレンジ活動を支援する「ムトス飯田助成事業」の申請及び交付を随時するとともに、新たに少額助成事業を加え、支援の強化を行います。

お祭り等の開催に向けた支援 1,550万円

☞ 各種お祭りやイベントの開催等について、新型コロナウイルス感染症への対応を行ったうえで安心・安全な開催を支援します。

支援強化 ①	相談窓口の常設により「いつでも相談、いつでも助成金の申請、いつでも助成金の交付」ができる体制をつくります。
支援強化 ②	市民活動の第1歩を後押しする「創発チャレンジ活動助成(1~5万円)事業」を創設します。
支援強化 ③	市民活動団体、法人化を目指す団体、NPO、若年層、一般社会人を対象とした、市民活動のための学びの場を提供します。



3. 地域経済の再生・地域経済循環の促進

地域経済の再生に際しては、地域外から稼いだお金をどれだけ地域内で循環させるかという「地域経済循環」の観点が重要です。地域産業の高付加価値化や地域に根差した農林業の推進等に取り組み、域内発注・域内調達・域内消費と外貨獲得による地域経済循環を促進します。

地域産業の高付加価値化の推進

772 万円

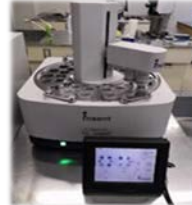
☞ エス・バード内工業技術試験研究所の機能、体制強化と、その活用と大学等の連携により製品・技術開発を支援します。



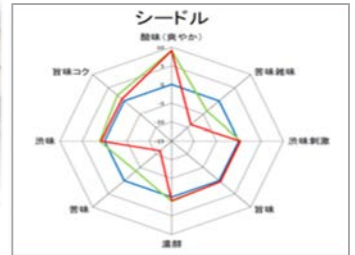
国内唯一の環境試験機器



☞ エス・バードを拠点に多様な分野との連携促進を図るため新たなプラットフォームを構築し、地域資源を活用した商品開発や販路開拓を支援します。



味を見える化する機器「味覚センサー」

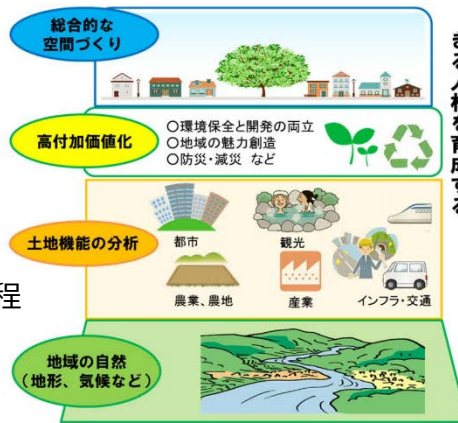


信州大学との連携強化

670 万円

☞ 令和5年度に開講を予定している「信州大学ランドスケープ・プランニング共同研究講座」の開設を支援します。

- 開設時期：令和5年4月
- 専攻・課程：総合理工学研究科 農学専攻・修士課程
- 定員：3名
- 教員体制：専任教員2名



地域の自然・土地機能等の分析・研究から総合的な空間設計を行い、提案できる人材を育成する

ランドスケープ・プランニング共同研究講座

- 想定される活躍の場
- ・建築設計事務所
 - ・ゼネコン
 - ・官公庁 (国交省、環境省、農水省、林野庁)
 - ・地方公共団体 (土木系、都市計画系)
 - ・不動産デベロッパー
 - ・農業法人
 - ・観光事業者 等

地域に根差した農林業の推進

287 万円

☞ 地域の中核農家である認定農業者の後継者等の親元就農者への支援を拡充します。

	新 農業後継者育成支援金	拡 親元就農者支援金
対象者	就農時60歳未満、親が認定農業者等	就農時60歳未満 ※従来の40歳未満から拡充
支援金額	90万円 ※30万円/年×3年間の支援	10万円

☞ 自伐型林業人材を対象とした飯田きこり実践塾の開講等により、林業従事者の育成を支援します。

- 伐木等の業務 (チェーンソー) に係る特別教育
- 林業技術者養成講習 など



デジタル技術の活用によるにぎわいのあるまちづくりの推進

700 万円

☞ 通信事業者との連携により中心市街地に行きたくなる仕組みづくりを検討します。



現地以外 VRの没入体験

・360°映像と併せて、現地の楽しさに触れる体験

実際に体験したい! ↓ ↑ オドロキ!や感動を共有



現地 ARの拡張体験

- ・テクノロジーでより深く楽しめる体験
- ・場所に応じたコンテンツをARで表示
- ・美術館の展示ガイドや、まち歩きの間遊ガイドサービスなど

☞ (仮称) 飯田駅前プラザ公共空間 (創発エリア) のXR室を活用し、回遊性をもたせる仕組みづくりを検討します。



AR授業イメージ
動画作成授業などを通じ、まちなかにオリジナルAR観光案内を作成



4. 移住に向けた支援の強化と観光振興

飯田市の魅力や実現可能なライフスタイルを発信するとともに、職・住・暮らしの個別相談、地域の受入環境づくり、移住後の支援などを行い、移住定住を推進します。また、アフターコロナにおける観光振興に向けて、天龍峡、遠山郷などの特色ある観光資源を生かしてこの地域の魅力の発信と人の呼び込みに取り組みます。

移住に向けた効果的な情報発信と相談体制の充実

1,322 万円

移住希望者へ情報発信
とくに子育て・若者世代へ向けて

- 移住マッチングシステムやSNS、動画等による情報発信
- 各種メディアへの情報掲載
- 移住物語リーフレットの作成

「田舎暮らしの本」

住みたい田舎ベストランキング
(2022年版)

「若者世代・単身者が住みたいまち」
「子育て世代が住みたいまち」
「シニア世代が住みたいまち」の各部門

出展：宝島社「田舎暮らしの本」2022年2月号
「2022年版住みたい田舎ベストランキング」



甲信エリア

★ 第 1 位

全国 (人口規模別)

★ 第 4 位

対面とオンラインを活用した入口相談

- 対面とオンラインによる移住セミナー
- オンライン移住相談デスク



Airbnb Japan、南信州観光公社との3者協定

地域との関係づくり

- Airbnb Japan、南信州観光公社との連携
- やまざと親子留学
- 暮らしの体験機会の提供
- 移住コンシェルジュとの連携
- お試し住宅の運用



やまざと親子留学 (南信濃地区)

遠山郷ならではの、豊かな自然環境や伝統文化を体験する親子留学です。



移住コンシェルジュカフェやゲストハウス等の事業者の方に移住希望者と飯田市、地域とのつなぎ役をお願いしています。

相談サポート

・仕事・住まい・暮らしの個別相談

- 就農支援
- 空き家バンク
- 移住者交流会
- 就業支援
- 空き家活用補助
- 中山間近居・同居支援



アフターコロナを見据えた観光振興への取組

6,197 万円

- ☞ 天龍峡大橋「そらさんぽ天龍峡」及びパーキングエリア周辺の活用により、周遊滞在型観光のための新たな拠点づくりを行うとともに、旅行者の滞在時間を増やし、消費を喚起する取り組みを進めます。
- ☞ 風越山、虚空蔵山からの眺望の改善と信濃路自然歩道を整備し、良好な自然環境を活かした観光地づくりを進めます。
- ☞ 国際的な自転車レースである「ツアー・オブ・ジャパン」について、市民が参画する新たな実行体制による開催を支援します。また、自転車を活用したまちづくりを再構築します。



天龍峡ナイトミュージアム (天龍峡)

信濃路自然歩道 (伊賀良)

ツアー・オブ・ジャパンの沿道応援の様子 (下久堅)

5. 子育て環境・教育環境の充実

一人ひとりの子どもが健やかに成長することができる社会を目指し、子育て環境の充実強化に取り組むとともに、個々の子どもの特性に寄り添った学習が図られるよう支援体制を強化します。また、家庭や学校において生じている諸問題の実態を把握し、解決に向けた取組を進めます。

子育て

保育・教育人材確保策の強化

730 万円

- 豊富な自然や地域資源を活用して心と体・自己肯定感と協調性を育む「いいだ型自然保育」の魅力を発信し、増加する保育ニーズに応えるため、地域に潜在化している人材の掘り起こしや、域外からの保育・教育人材の取込を目指します。

★ 自然保育体験型保育人材確保事業

信州やまほいく認定の認証を受けている民間保育所等で、都市部の保育士養成学校等の学生を対象に夏休み期間中にアルバイト雇用を行う法人に支援を行い、域外からの人材を取り込みます。

宿泊（民泊）＋アルバイト雇用
パッケージング



★ 和田保育園プロジェクト

地域の取組に加えて市内でもプロジェクト体制を整え、和田保育園の園児確保に向けて取り組みます。

- 園の魅力発信
- 園児バス購入（上村保育園との交流）
- 体験保育・お泊り保育など



教育

誰ひとり取り残さない学習支援体制の強化

8,244 万円

- 個々の子どもの特性に寄り添いながら、自身の能力や可能性を最大限に伸ばす学習活動が実施できるよう、学習環境の整備や支援体制の強化など、より良い学びの環境づくりに取り組みます。



ヤングケアラーがいる家庭への支援

175 万円

- 家族の介護や世話について、大人が担うようなケア責任を引き受けている18歳未満の子ども（ヤングケアラー）がいる家庭の実態を把握するとともに、支援に向けた具体的取組を検討します。

ICT教育環境の整備

特別支援教育用の学習用端末や教材を導入し、個々の子どもたちの特性に寄り添った学習を推進します。

教員の指導力向上

全学級で個々の子どもの特性に寄り添った学級経営や授業づくりが実践できるよう、特別支援教育に関する知識や理解をより深める研修会を、専門機関等と連携しながら実施します。

特別支援教育支援員の増員

特別支援教育支援員を2名（うち1名医療的ケア看護支援員）増員し、特別な支援を必要とする子どもたちの学校での生活や学習活動を支援します。

教育支援センターの新設

教育支援センターを新設し、専門職の配置や関係機関との連携を強化することで、不登校児童生徒一人ひとりに寄り添った支援を行います。



中学生を対象に、アンケートを実施し、どのような取組ができるか、関係機関と検討します。

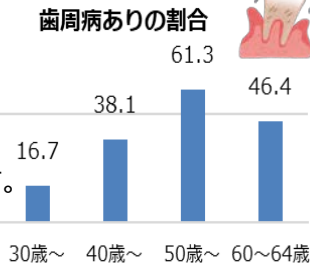
6. 市民総健康の推進と地域福祉の充実

人生100年時代を見据え、できる限り健やかに暮らせるよう、健康増進に効果的な取組を強化し、若いうちからの生活習慣病予防、重症化予防に取り組みます。また、住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができる地域共生社会の実現を目指します。

★ 青壮年期を中心とした健康増進の取組の強化 304万円

- 歯周病は万病のもとといわれており、50歳代の3人に2人がかかっている現状を踏まえ、40歳を対象とした歯科健診を実施します。

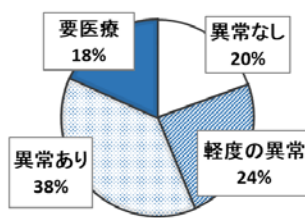
健診結果から、「お口の健康」について広くお知らせし、定期的な歯科健診の受診につなげる取組を進めます。



- 消防団員を対象とした健診を引き続き実施するとともに、健診結果を集積・分析し、働き盛りの世代からの生活習慣病予防に活用します。

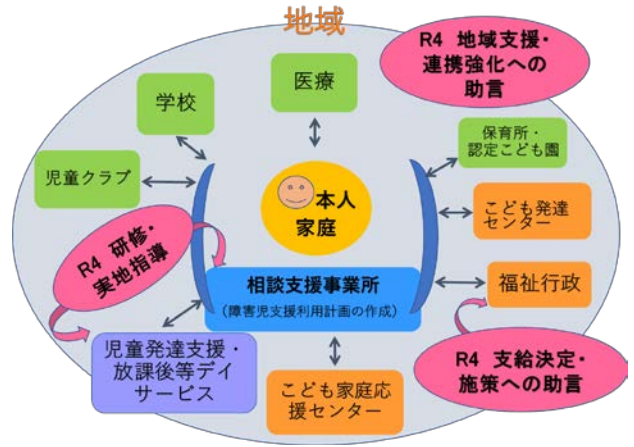


R3 血液検査結果



★ 障がい者の社会参加の推進 72万円

- 障がい児・者の現状、発達障害等により育ちに困難を抱える子ども・家庭に対し、地域や関係機関と連携した途切れない支援を行います。



- ユニバーサルデザインについて、市民の皆さんとともに学習する機会を作ります。また、誰にとってもわかりやすいトイレマップの作成に取り組みます。



介護予防（重度化防止）の推進 1,039万円

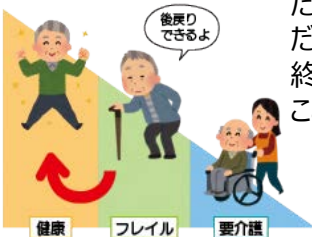
★ 楽しみながら健康を自己管理できる仕組みの研究 21万円

- 支援を必要とする度合いが軽度の方（要支援者・総合事業対象者）を対象に、リハビリ専門職等がプログラムを提供する「短期集中通所型サービスC事業」に引き続き取り組みます。

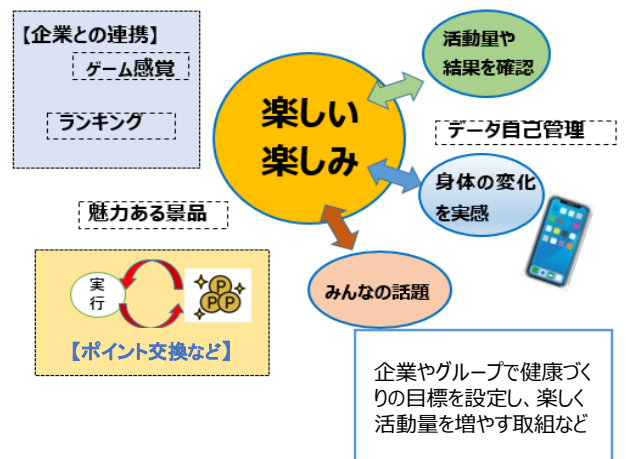
また、通所利用が困難な地域においては、訪問により対応します。

(通所型サービスC事業の概要)

運動、口腔、栄養の各専門職が、家庭での自主トレーニングにポイントを置き、3か月間、週1回の相談・指導を行います。毎日、自主トレーニングを行っていただき、その記録を付けていただくことで、身体機能の改善と終了後も維持していただけることを目指しています。



- 自らの健康状態や、健康づくりの活動状況を見える化し、楽しみながら管理できる仕組みづくりに向け研究します。



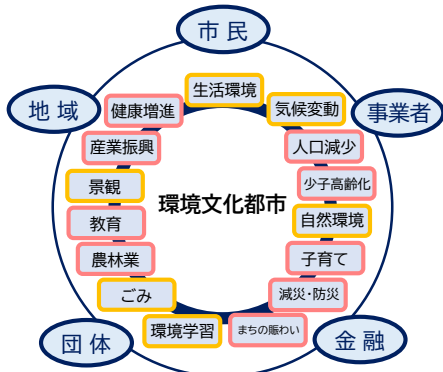
7. ゼロカーボンシティに向けた実践

「ゼロカーボンシティ」を目指し、二酸化炭素の排出を減らす生活や事業活動への転換を進めていくため、再生可能エネルギーの域産域消や、飯田版ZEH（ゼロエネルギー住宅）の普及、グリーンリカバリー（緑の復興）による地域の成長をテーマにした共創の場づくりなどの取組を地域ぐるみで進めます。

飯田市は、令和3年3月に「2050年いいたゼロカーボンシティ宣言」を行いました。

★ 環境文化都市構築に向けたプラットフォームの設置 67万円

☞ 「環境文化都市」の理念が広く市民全体のものとなるよう、対話と実践を支える場（プラットフォーム）を構築します。



【プラットフォームイメージ図】

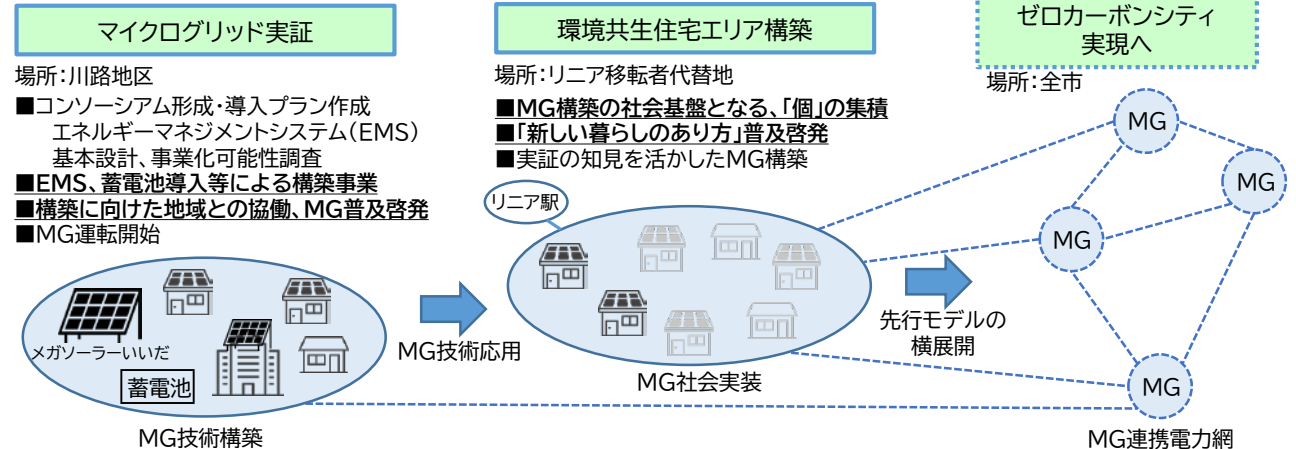
- 【プラットフォームの内容】
- 「環境文化都市」の考え方の共有
 - 持続可能なまちづくりに関する勉強会の開催
 - 「望ましいまちの姿」の骨格の検討と分野を超えた議論・構築
 - 構築した「望ましいまちの姿」の共有
 - 「望ましいまちの姿」と現状のギャップの洗い出し
 - ギャップを埋めるために行う事項の共有
 - ギャップを自分事とできるための仕掛けづくり → 実践

展開
フィードバック

- 《市民活動による課題への取組》
・地域の美化活動・家庭の省エネ
・ウォーキングによるノーマイカーと健康増進の取組 など
- 《事業活動による課題への取組》
・課題解決を図るための事業検討
・企業の省エネ・異分野・異業種連携による地域産業活性化 など
- 《行政政策による課題への取組》
・市民・地域への啓発
・企業活動への支援 など
- シビックプライドの醸成
事業化・地域貢献
地域課題の解決・活性化

★ 地域との協働によるマイクログリッドの実現に向けた取組 198万円

☞ 脱炭素なまちづくり、災害時の復興力・回復力（レジリエンス機能）の強化などを目的とした災害時でも電気が届く近隣単位の送電網づくり（「マイクログリッド」）について、地域との協働により構築に取り組みます。



★ 住宅の脱炭素化の推進 2,900万円

☞ 環境にやさしい家づくりを推進するための補助制度を設け、普及を図ります。

★ 環境学習の推進 204万円

☞ 幼稚園・保育園、学校、社会教育機関、自治活動組織と連携し、効果的な学びになるよう取組を進めます。

【環境共生住宅エリア構築事業】
地域マイクログリッドを目指した環境共生住宅の集積
対象エリア: 環境共生エリア
対象住宅: 環境共生住宅仕様

【飯田版ZEH普及促進事業】
飯田版ZEH仕様住宅の普及による脱炭素化の推進
対象エリア: 市内全域
対象住宅: 飯田版ZEH仕様

【「ごみ探偵団が行く」WEB版の制作と普及】

社会科副読本「ゴミ探偵団が行く」のWEB版を作成します。アニメーションや動画、検定クイズなどを取り入れ、ICTによる環境教育を推進します。



8. リニア・三遠南信時代を支える基盤整備



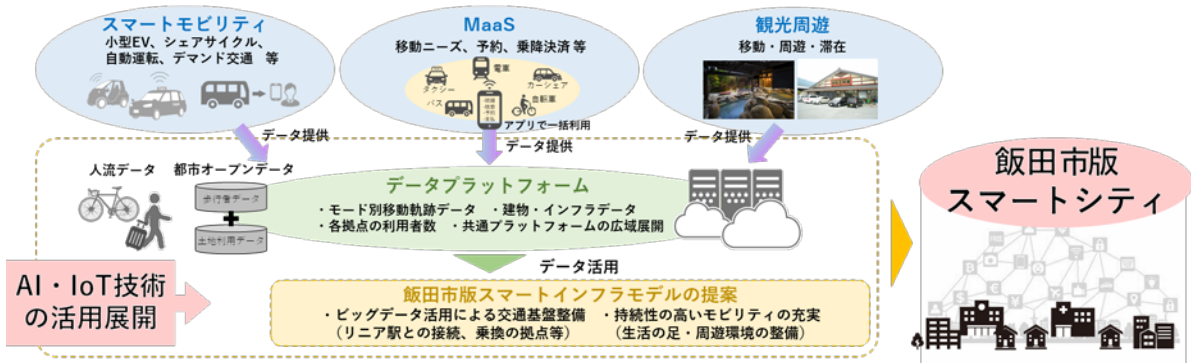
リニア中央新幹線や三遠南信自動車道の整備効果を地域振興に活かせるよう、リニア駅周辺について、広域交通拠点としての整備を進めるとともに、広域道路ネットワークの強化を図ります。また、リニア中央新幹線の整備効果を最大限に享受するための二次交通の実現や、AI等の技術を活用したスマートモビリティの実装に取り組みます。

駅前広場、魅力発信施設、二次交通などの整備に向けた体制の構築 1億724万円

- ☞ リニア駅周辺整備について進めてきた各プロジェクトを一旦総括し、駅前広場の建築設計、魅力発信施設や二次交通の整備、エネルギーシステム、グリーンインフラなどの実装化に向けたプロジェクト体制の構築と具体的検討を行います。



- ☞ 二次交通や地域公共交通の検討に当たっては、この地域らしさを活かしたスマートモビリティを実装できるよう、AIやIoTの技術の活用展開について研究を進めます。



移転をお願いする方への対応として、不安や心配を払しょくし、移転後の生活再建を進めることができるよう、丁寧で寄り添った対応に努めます。

駅周辺関連道路等の整備

17億8,864万円

- ☞ 地権者をはじめとする関係者の意向や環境に与える影響等にも配慮しながら、リニア駅周辺や関連する道路等の整備を進めます。

- ☞ リニア中央新幹線の整備効果を活かす上で欠かすことのできない座光寺スマートインターチェンジへのアクセス道路の整備に引き続き取り組みます。



〈座光寺スマートインターチェンジ〉

9. 災害や社会リスクに備えるための環境整備

市民の皆さんが安全・安心に暮らせるまちを目指し、地域防災力の向上、地域で取り組む防災・減災のまちづくりなど、自助・共助を支援する環境整備を行います。要配慮者の避難行動支援が必要な施設はもとより、地域をあげて要配慮者に対する避難支援計画の充実を図り、一方で率先安全避難者の登録を進めます。

★ 避難施設における快適な生活環境の確保 2億2,753万円

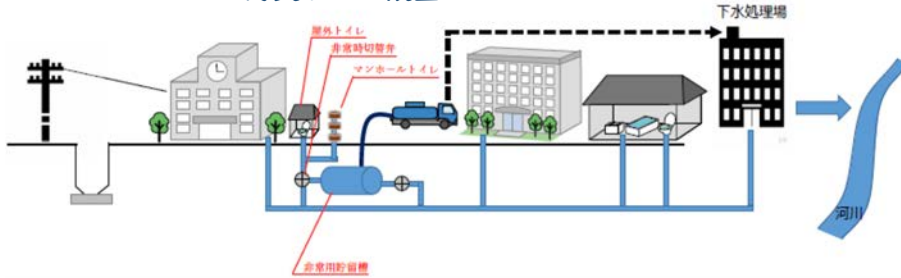
☞ 飯田市地域防災計画において指定避難施設等に位置づけている施設の屋外トイレについて、計画的な改修を進め、災害時等における生活環境向上を図ります。改修に際しては、防災機能の向上だけでなく、障がいのある方や高齢の方など、全ての人にとって使いやすいユニバーサルデザインも考慮し、指定避難施設等の快適な生活環境を確保します。

市有施設屋外トイレ改修計画（R4～R7）

年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	合計
全体数	15	17	29	18	79
指定避難施設	0	1	1	0	2
応急避難施設	2	0	9	5	16
広域避難地	3	6	3	0	12
避難地	10	10	16	13	49



防災トイレ設置イメージ



★ 通学路の安全確保 3億8,745万円

☞ 令和3年度に実施した小学校通学路の安全点検の結果や飯田市通学路安全対策アクションプログラムに基づき、危険性が認められる箇所の整備計画を定め、安全確保を進めます。



(通学路の側溝に蓋をし、歩行空間を確保した事例)



(通学路の横断歩道手前をカラー舗装し注意喚起を促した事例)

避難の実効性を高めるための取組の強化 163万円

☞ 一部地域において先行的に取り組んでいる「率先安全避難者の登録」を横展開するとともに、「わが家の避難計画づくり」や「災害から命を守るパートナーシップ協定」を活用した取組を強化します。



10. デジタル技術の活用による市民サービスの向上

市役所に行かなくても行政手続きができ、オンラインで完結するように、行政手続きのデジタル化を進め、市民の皆さんの利便性向上に取り組みます。様々な行政サービスについて、デジタル化に向けた検討や、デジタル化によるサービスの充実により、行政サービスの向上を図ります。

デジタル化等による行政サービスの向上

4,919 万円



たとえば..

- ☞ SNSアプリのプッシュ型通知機能を活用して、個々のニーズに沿った市政情報を発信します。また、市民からの道路損傷情報などの通報機能による情報共有を図ります。
- ☞ 「いいだ子育て応援アプリ」を活用したオンライン相談に取り組みます。



- ☞ 市公式WEBサイトにAIチャットボットを導入し、WEBサイト上での問い合わせ対応を可能にします。

- ☞ マイナンバーカードを利用して、市が発行する証明書を全国のコンビニエンスストアで早朝、夜間、休日でも取得できるサービスを導入します。



- ☞ 窓口での住民票の写し等の交付申請において、タブレット端末を使うことにより、申請書を書かなくても簡単に手続きができる窓口システムを導入します。



- ☞ 市民誰もがデジタル社会の利便性を実感できるように、スマホ初心者の方を対象とした講習会を実施します。
 - ・スマホの基本操作
 - ・暮らしに便利なアプリの使い方 など

- ☞ マイナンバーカードを利用した保育所の入所や介護認定の申請手続きをはじめ、各種行政手続きがオンラインで申請できるように取り組みます。



- ☞ 各施設の予約をオンラインで行うことができる施設予約システムの運用を開始します。



[対象施設]
体育施設、飯田市公民館、文化会館、
勤労者福祉センター

(年度後半からのシステム運用開始を予定)

2 「予算編成の基本方針」に基づく主な事業（戦略計画における基本目標ごとの主な事業）

基本目標 1

稼ぎ、安心して働ける「魅力ある産業」をつくる

※基本目標 1 の主な事業の予算額合計（再掲含む）1 億 1,820 万円

地域経済循環による経済の再生

・事業者連携等による地域経済循環の推進と地域経済循環を表す新たな指標の研究	107 万円
・農林業者の地域資源と商工業者の技術・経験の組み合わせによる新商品開発の促進のための「地域資源プラットフォーム」の構築	280 万円
・「地域通貨」の導入に向けた研究会等の実施	20 万円

信州大学との連携強化

・信州大学と連携した「航空機システム共同研究講座」への支援と令和 5 年度開講予定の「ランドスケープ・プランニング共同研究講座」の支援	670 万円
---	--------

エス・バードを活用した地域産業の高付加価値化の推進

・国内唯一の環境試験拠点として自立していくための体制整備	492 万円
・「UAM（都市航空交通）」市場への参画の検討を含む電動化（次世代エア・モビリティ）における地域産業の推進	400 万円
・シードルの産地「飯田」を発信するための情報コンテンツ作成	28 万円

環境に配慮した農業の推進

・認定農業者の後継者等の親元就農への支援拡充	150 万円
・生産者、消費者に向けた環境に配慮した農業の必要性の啓発	30 万円
・農業者、流通業者、生産団体等で構成する組織による「南信州版地域認証制度」の創設に向けた検討	0 予算事業
・学校、保育園の給食への域産域消の拡大及び有機食材導入の検討	0 予算事業

搬出間伐や更新伐の促進による森林整備の推進

・地域産材を利用した住宅建設の促進	943 万円
・カスケード利用の促進及び林地残材発生抑制のための未利用材搬出支援	738 万円
・山林所有者や森林状況の把握、経営計画の見通し等について把握するための「みどりの人材育成事業（森林施業意向調査）」の実施	1,350 万円
・チェンソー講座や林業経営支援講座など自伐型林業人材育成事業（飯田きこり実践塾）の実施	137 万円

アフターコロナの観光振興

・天龍峡パーキングエリアの有効活用（管理費）	885万円
・下村広場のトイレ等施設整備	2,190万円
・天龍峡マルシェやナイトミュージアムなど「天龍峡おもてなし戦略」の支援	300万円
・しらびそ高原を中心に遠山郷における「遠山郷星空観光戦略計画」の策定	110万円
・道の駅遠山郷運営改善計画に基づく「道の駅遠山郷」のあり方検討	0 予算事業
・市民が参画する新たな実行体制による「ツアー・オブ・ジャパン」南信州ステージ開催への支援	906万円
・新型コロナウイルス感染症対策を行ったうえで実施する飯田まつり、時又灯ろう流し、南信州獅子舞フェスティバルなど各種お祭りやイベントの開催支援	1,550万円

本社機能やサテライトオフィス等、企業・研究機関等の誘致

・本社機能の地方移転、分散のニーズを捉えたサテライトオフィスの誘致	250万円
・企業と自治体のマッチングイベント等を活用した企業誘致活動の展開	284万円

基本目標 2

飯田の魅力を発信し、つながる人を増やし、飯田市への人の流れをつくる

※基本目標 2 の主な事業の予算額合計（再掲含む）1,785 万円

中心市街地の賑わいの再生に向けたまちづくり

・（仮称）飯田駅前プラザ公共空間（創発エリア）のXR室を活用したAR授業の実施や中心市街地へのARポイントの設置	100万円
・リニア開通を見据えた中心市街地にふさわしい景観形成等の研究	15万円
・市民団体等の連携による空き家リノベーション講座等利活用に向けた取組	80万円
・通信事業者との連携によるデジタル技術を活用した中心市街地活性化の実証実験	600万円

地域の次代を担う地域企業人材誘導の強化

・民間主導による若者と地元企業や産業を「つなぐ事業」の支援	83万円
・インターンシップ受入れ支援による地元企業へのUターン就職の支援	62万円

移住に向けた効果的な情報発信と相談体制の充実

・当地域に移住し、農園やゲストハウスなどで活躍している方の生の声を配信するオンライン移住セミナーの開催	116万円
・移住マッチングシステムを活用したオンライン移住相談の充実	106万円
・子育て世帯向けフリーペーパー等への移住定住PR広告の掲載	50万円

・ゲストハウスやカフェ、民泊のオーナーなどによる「結いターン移住コンシェルジュ」の活動支援	35万円
・Airbnb Japan、南信州観光公社との連携協定に基づく農家民泊の活性化や空き家の活用などを通じた関係人口の創出・拡大	38万円
・移住就業支援金の交付要件の拡充	500万円

基本目標 3

“結いの心” に根ざす教育を実践し、豊かな心とリニア時代を生きる力を育む

※基本目標 3 の主な事業の予算額合計（再掲含む）8,643 万円

子どもたちの読解力を高める取組の推進

・令和 3 年度に実施したモデル校のリーディングスキルテストと全国学力テストの結果分析による読解力向上に向けた研究	32万円
---	------

読書活動の推進

・（仮称）飯田駅前プラザ公共空間（創発エリア）への高校生向けの図書館機能の新規設置	367万円
---	-------

誰ひとり取り残さない学習支援体制の強化

・特別支援教育用 I C T 教材の導入や特別支援教育に関する教職員研修の充実などによる誰ひとり取り残さないインクルーシブ教育システムの構築	7,971万円
・子どもと家庭に寄り添った相談支援を行うための「教育支援センター」の新規設置（（仮称）飯田駅前プラザ公共空間（創発エリア）内）	273万円

食育の推進

・学校、保育園の給食への域産域消の拡大及び有機食材導入の検討（再掲）	0 予算事業
------------------------------------	--------

基本目標 4

豊かな「学びの土壌」を活かした「学習と交流」を進め、飯田の自治を担い、可能性を広げられる人材を育む

※基本目標 4 の主な事業の予算額合計（再掲含む）3,852 万円

地域の課題解決に向けた学習交流活動の再興

・コロナ禍で制約を受けている公民館等の社会教育活動再興に向けた支援と地域課題の解決のための学習交流活動の再興（公民館事業）	984万円
---	-------

(仮称) 飯田駅前プラザ公共空間（創発エリア）における学習交流支援

・新たに設置する創発コーディネーターを中心とした高校生や若者世代を対象とする学習交流の支援	191 万円
・平和祈念館を活用した小中高校生向け平和・人権・多文化学習の推進	41 万円
・(仮称) 駅前プラザ公共空間（創発エリア）における、学輪 IIDA 等の大学が持つ知見を活かした学びの場の創出や地元高校生と大学生の交流による人材育成の推進	22 万円

飯田型キャリア教育を軸とした幼児期から高校までの地域人育成

・幼児期から高校まで一貫した地域人教育の成果発表などフォーラムの開催	17 万円
・「結いナビ IIDA」の活用等による地域人教育WEBプラットフォームの推進	94 万円
・高校生意識調査の実施による高校生の探求学習の支援	13 万円

恒川官衙遺跡の利活用に向けた取組の推進

・正倉院北側エリアの整備及びガイダンス施設の基本設計	2,490 万円
----------------------------	----------

基本目標 5

文化・スポーツを通じて人と地域の輝き・うるおいをつくる

※基本目標 5 の主な事業の予算額合計（再掲含む）3,799 万円

文化活動やスポーツ活動の再興

市民が主体となって行う文化活動やスポーツ活動の支援

・いいだ人形劇フェスタの開催	1,800 万円
・オーケストラと友に音楽祭の開催	1,100 万円
・飯田やまびこマーチの開催	237 万円
・風越登山マラソンの開催	102 万円

新文化会館建設に向けた取組

・新文化会館建設に向けた整備検討組織の立ち上げ	227 万円
-------------------------	--------

中学生期の多様なスポーツ環境の充実

・飯田市スポーツ協会と連携した全市型競技別スポーツスクールの開催	307 万円
・筑波大学アスレチックデパートメントと連携した保護者・指導者対象研修会の開催	26 万円

基本目標 6**結婚・出産・子育ての希望をかなえる**

※基本目標6の主な事業の予算額合計（再掲含む）1億6,748万円

出産の希望をかなえ、子育てを支援する

・若者の結婚新生活の支援	1,800万円
・不妊・不育症治療専門相談の実施及び不妊・不育症治療費の助成	1,939万円
・宿泊型産後ケア事業及び家事・育児支援など産後の支援	380万円
・「孤」育てを防ぐため、いいだ子育て応援アプリを活用した相談体制の強化	107万円

児童虐待防止などの家庭支援

・つどいの広場等での子育てアドバイザーによる育児相談の実施	7,891万円
・家族の介護や世話について大人が担うようなケア責任を引き受けている18歳未満の子ども（ヤングケアラー）の実態の把握	175万円

こども家庭応援センター機能の充実・強化による発達支援

・こども家庭応援センター（ゆいきっず）における子育て相談体制の充実	733万円
-----------------------------------	-------

保育・教育人材の確保

・都市部在住の学生を対象とした自然保育体験型保育人材確保事業の実施	40万円
・保育士の宿舍借上げ支援や就職・復職支度に必要な経費の補助など民間保育所等における保育人材確保の支援	2,993万円

園児が減少している保育園の存続体制整備

・市内プロジェクト体制の整備による和田保育園存続に向けた園児確保戦略（和田保育園の魅力発信、通園環境の充実等）	690万円
---	-------

基本目標 7**「市民総健康」と「生涯現役」をめざす**

※基本目標7の主な事業の予算額合計（再掲含む）3億5,706万円

新型コロナウイルス感染症対策の推進と検証

・新型コロナウイルス感染症ワクチンの追加接種	1億3,896万円
・抗原定性検査（簡易キット）による感染防止対策	2,438万円
・飯田保健所や飯田医師会等関係機関の協力による地域外来・検査センターの運営	5,961万円

・高齢者、基礎疾患を有する方、介護医療従事者のほか、福祉施設、保育園等の職員への検査助成の拡充	595 万円
---	--------

コロナ禍における健康上の課題への対応

・20 地区における健康づくりに関する自主的な活動の支援	240 万円
・フレイル状態の悪化を防ぐための専門職による短期集中サービスの実施	1,039 万円

若年層を中心とした健康対策

・消防団員の健康診査や 40 歳を対象とした歯科健診の実施など青壮年期における健康づくりの推進	304 万円
・楽しみながら健康を自己管理できる仕組みの構築に向けた研究	21 万円
・子宮頸がん予防接種の推進	7,956 万円

地域の診療体制の整備

・千代地区における医療確保のための新たな運営体制の整備	2,772 万円
・南信濃「福祉の里」における福祉・介護・医療の運営体制の研究	484 万円

基本目標 8

共に支え合い、自ら行動する地域福祉を充実させる

※基本目標 8 の主な事業の予算額合計（再掲含む）6,705 万円

地域福祉活動の推進

・有償移送サービスの支援	520 万円
・住民支え合いマップの活用やふれあいサロンの開催、買い物・ゴミ出し支援	542 万円
・地域福祉コーディネーターによる共助の基盤づくり	4,966 万円

重層的支援体制の構築

・「福祉まるごと相談窓口」を中心に、包括的相談支援事業、参加支援事業、地域づくり事業を一体的に行うことによる重層的支援体制の充実	605 万円
--	--------

障がい者の社会参加の推進

・障がい児・者、発達障害等、育ちに困難を抱える子ども・家庭に対する地域や関係機関と連携した途切れない支援の推進	22 万円
・誰にでもわかりやすいトイレマップの作成	33 万円
・市民や企業等とともにユニバーサルデザインについて学ぶ研修等の実施	17 万円

基本目標 9**20 地区が輝く生き生きとした地域づくりを地域主体に進める**

※基本目標 9 の主な事業の予算額合計（再掲含む）7,198 万円

地域運営組織の組織化と活動支援

- ・地域課題解決や地域の魅力づくりに継続的に取り組む各地区まちづくり委員会
特別委員会等の活動支援 0 予算事業

遠山郷の振興

- ・やまざと親子留学の支援拡充などによる遠山郷の振興 858 万円
- ・庁内プロジェクト体制の整備による和田保育園存続に向けた園児確保戦略
(和田保育園の魅力発信、通園環境の充実等) (再掲) 690 万円

中山間地域の振興

- ・孫ターンや住宅の改修など近居・同居促進事業補助金の対象の拡充 800 万円
- ・中山間地域の農村資源を活用した新たな産業おこしに向けた農村起業家育成ス
クールの支援 454 万円
- ・地域おこし協力隊による活動支援 2,946 万円

空き家の適正管理と利活用

- ・危険な空き家の解消や移住希望者への空き家供給、空き家活用等事業補助金な
ど空き家利活用の促進 1,420 万円
- ・空き家の相談や内覧、移住後のフォローなどを行う「空き家コーディネーター」
の設置 30 万円

基本目標 10**個性を尊重し、多様な価値観を認め合い、活動の場を広げる**

※基本目標 10 の主な事業の予算額合計（再掲含む）1,714 万円

ムトス市民活動の再興

- ・ムトス飯田助成事業の伴走支援やムトスアカデミーの開催、専門コーディネー
ターの設置などによるムトス市民活動の推進 1,056 万円
- ・市民の多様なチャレンジ活動をいつでも支援する「創発チャレンジ活動助成事
業」の創設 0 予算事業
- ・専門家による経営相談や指導等も含む「ムトス飯田支援資金」の仕組みの構築 0 予算事業

共生社会の推進

- ・(仮称) 飯田駅前プラザ公共空間(創発エリア)に国際交流の推進機能を置くとともに、女性や若者、外国籍を持つ市民など多様な市民が集い、交流し、新たな価値を創発することができるような取組の支援 658万円

基本目標 11

地球環境への配慮が当たり前の暮らしとまちづくりの推進

※基本目標 11 の主な事業の予算額合計(再掲含む) 1億4,163万円

「環境文化都市」を体現する取組の強化

- ・「環境文化都市」の理念を多くの市民と共有する「対話と実践の場となるプラットフォーム」の構築と「いいだSDGs学生サミット(仮称)」の開催 77万円
- ・稲葉クリーンセンターの焼却灰再資源化の強化及び古布のリサイクル回収などによる可燃ごみ減量対策の強化 1億743万円

環境学習の推進

- ・幼稚園・保育園、学校、社会教育機関、自治活動組織と連携し、環境問題への理解を深めるための効果的な環境学習の推進 204万円

ゼロカーボンシティに向けた実践

- ・地域マイクログリッドを目指す環境共生住宅エリアの構築と飯田版 ZEH 仕様住宅の普及による住宅の脱炭素化の推進 2,900万円
- ・発電会社、配電会社、電気販売会社及び地域との連携によるメガソーラーいいだを活用した川路地区におけるマイクログリッド実証のPR 198万円
- ・ゼロカーボンシティの実現に向けて率先した取組を表明する事業所の登録制度の創設(いいだゼロカーボンチャレンジ事業所登録制度) 41万円

基本目標 12

災害や社会リスクに備え、社会基盤を強化し、地域防災力の向上を図る

※基本目標 12 の主な事業の予算額合計(再掲含む) 6億1,661万円

指定避難所等の生活環境向上

- ・公園や学校校庭など地域防災計画における避難施設のトイレの計画的な改修 2億2,753万円

避難の実効性を高めるための取組の強化

- ・「率先安全避難者」の登録の横展開と「わが家の避難計画づくり」や中山間地域等における避難のあり方調査の推進 163 万円

通学路の安全確保

- ・飯田市通学路安全対策アクションプログラム及び令和3年度に実施した通学路合同点検に基づく危険性の高い箇所の安全対策の実施 3 億 8,745 万円

基本目標 13

リニア・三遠南信時代を支える都市基盤を整備する

※基本目標 13 の主な事業の予算額合計（再掲含む）19 億 4,069 万円

リニア関連事業に係る用地買収等の促進

- ・移転をお願いする方に対する丁寧で寄り添った対応など関係者に配慮した用地の取得 3,281 万円

リニア開通に備えた 21 世紀型まちづくりの推進

- ・地域に導入すべき新たな交通モビリティや利便性向上のための新技術の研究（二次交通のあり方調査） 973 万円
- ・リニア駅周辺整備の新たなプロジェクト体制の構築 6,470 万円
- ・リニア駅周辺関連道路等に係る用地買収や物件移転補償、道路整備工事等の実施 16 億 3,070 万円
- ・座光寺上郷道路との接続道路に係る座光寺スマートインターチェンジ周辺の道路整備工事等の実施 1 億 5,794 万円

デジタル化や先端技術活用推進に向けた研究と実装

- ・地域内製造業の現場における課題解決のための D X の推進 130 万円
- ・住民票、印鑑登録証明書など各種証明書のコンビニ交付の導入 3,762 万円
- ・軽自動車税ワンストップサービス、納付確認システムの導入 54 万円
- ・市ホームページへの A I による W E B チャットボットの導入 194 万円
- ・市政情報の発信及び通報機能による情報共有のための SNS アプリの導入 341 万円
- ・地域課題解決の方策へのデジタル技術活用の研究 0 予算事業

※その他特筆すべき取組の予算額合計（再掲含む）1,659 万円

信州大学新学部誘致活動

- ・ 大学と地域の連携による地方創生の実現に関する調査研究等の実施、信州大学新学部誘致推進協議会と連携した学部誘致の推進

600 万円

クラウドファンディング型ふるさと納税の活用

寄附金の使い道をより具体的な施策に活用するクラウドファンディング型ふるさと納税を活用した各種取組の推進

- ・ 地域で野良猫を適切に管理し、野良猫の数とトラブルを減らしていくための取り組み（地域猫活動）への支援

【クラウドファンディング型ふるさと納税による寄附目標額 50 万円】

53 万円

- ・ 市民が参画する新たな実行体制による「ツアー・オブ・ジャパン」南信州ステージ開催への支援（再掲）

【クラウドファンディング型ふるさと納税による寄附目標額 100 万円】

906 万円

- ・ 飯田市に数多く存在する名桜を未来に残すための保存活動への支援

【クラウドファンディング型ふるさと納税による寄附目標額 50 万円】

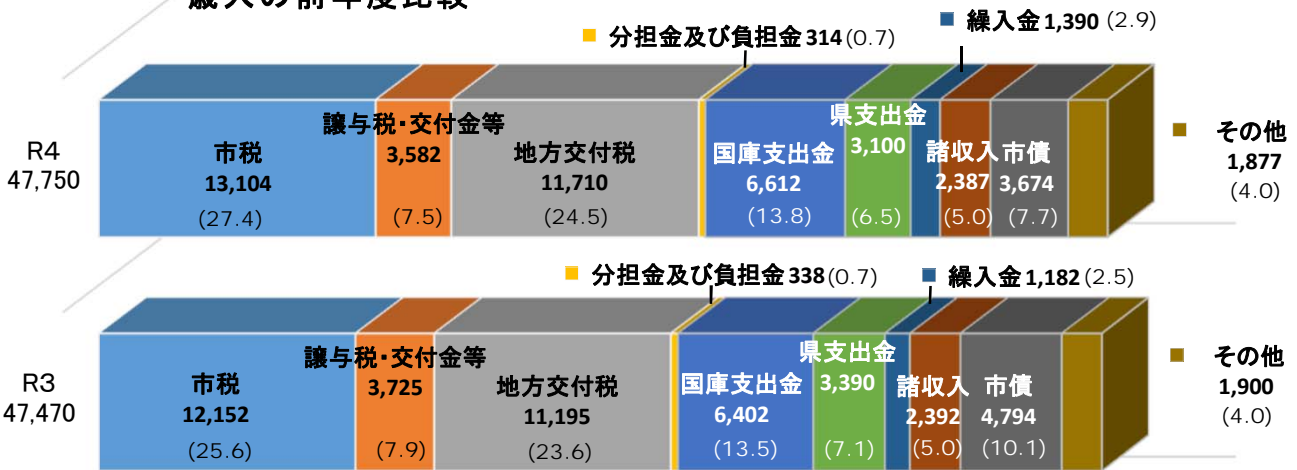
100 万円

3 一般会計・各会計歳入歳出予算

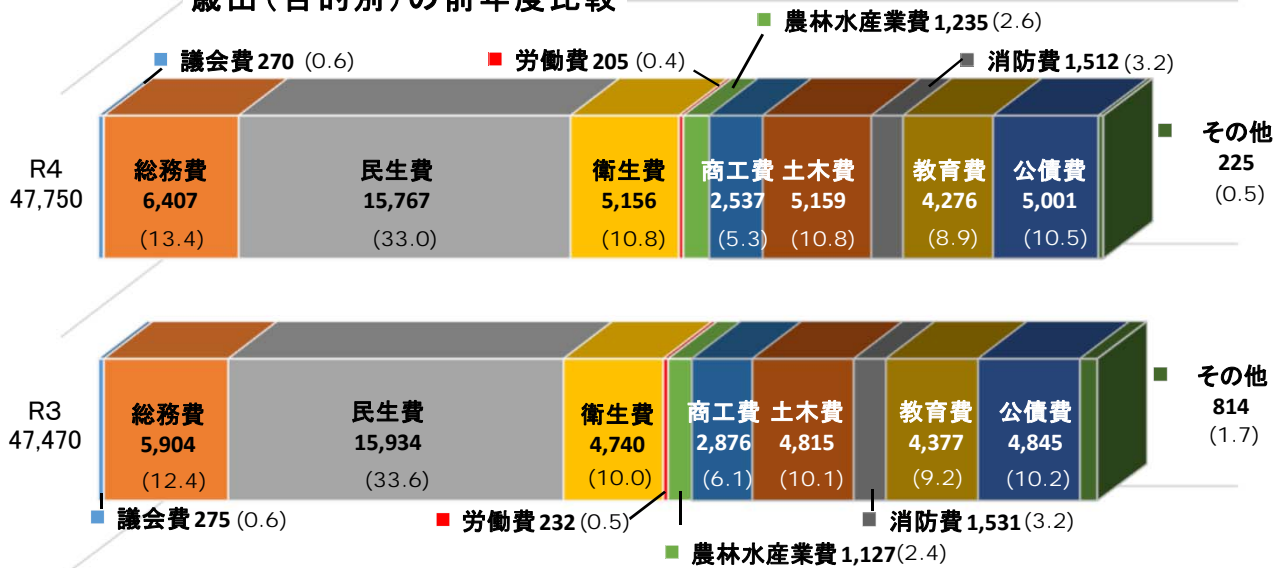
令和4(2022)年度一般会計予算額【477.5億円】

(単位:百万円) ()は構成比

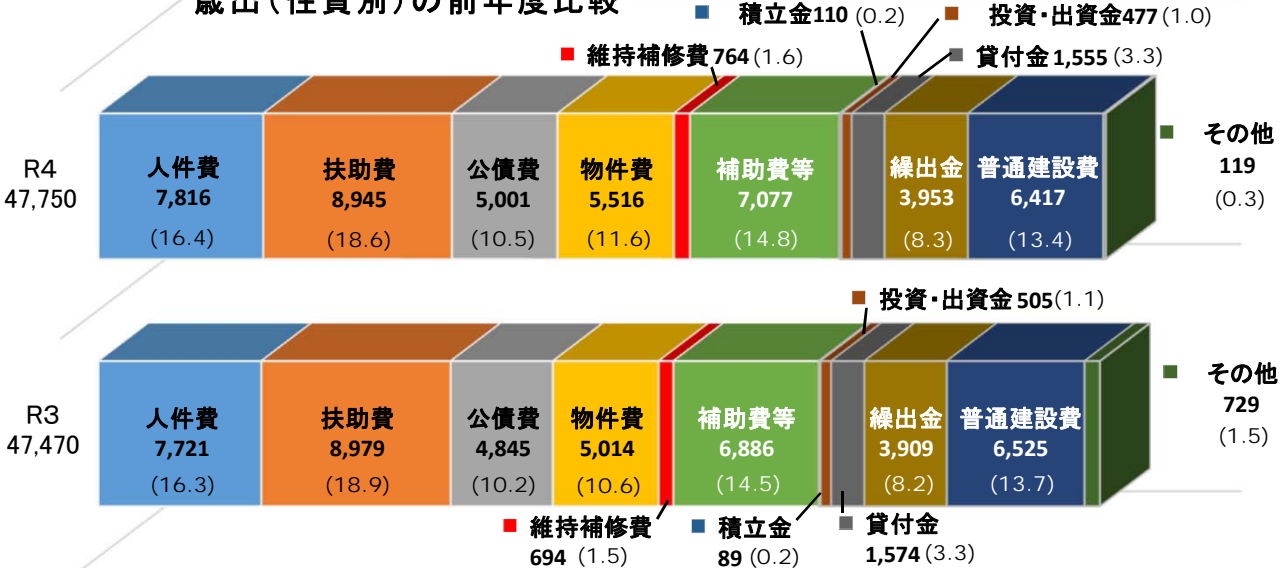
歳入の前年度比較



歳出(目的別)の前年度比較



歳出(性質別)の前年度比較



令和4(2022)年度 飯田市各会計予算の総額

会 計 名		予 算 額		比 較	
		4年度(A)	3年度(B)	(A)-(B) (C)	(C)/(B)
一 般 会 計		47,750,000	47,470,000	280,000	0.6
国民健康保険特別会計	事業勘定	9,025,900	9,087,200	△ 61,300	△ 0.7
	直診勘定	4,700	4,800	△ 100	△ 2.1
後期高齢者医療特別会計		1,468,700	1,491,900	△ 23,200	△ 1.6
介護保険特別会計		11,986,000	11,892,800	93,200	0.8
地方卸売市場事業特別会計		17,500	18,000	△ 500	△ 2.8
駐車場事業特別会計		56,300	61,900	△ 5,600	△ 9.0
墓地事業特別会計		13,900	12,600	1,300	10.3
介護老人保健施設事業特別会計		721,700	715,600	6,100	0.9
ケーブルテレビ放送事業特別会計		77,000	78,700	△ 1,700	△ 2.2
病院事業会計		16,917,800	16,553,000	364,800	2.2
水道事業会計		3,732,600	3,645,600	87,000	2.4
下水道事業会計		6,353,000	5,867,400	485,600	8.3
特別会計の計		50,375,100	49,429,500	945,600	1.9
計		98,125,100	96,899,500	1,225,600	1.3

(単位:千円、%)

主 な 内 容		
		一般
保険給付費 6,463,000 事業費納付金 2,281,135 総務費 124,977 保健事業費 78,125		国保
三穂診療所、上村歯科診療所		
後期高齢者医療広域連合納付金 1,441,440		後高
保険給付費 11,347,219 地域支援事業費 362,354		介護
卸売市場費 16,374		市場
市営駐車場運営管理 55,640 【駐車場料金の試行】 2時間まで無料(その後30分ごと100円)、24時間上限 2,000円 令和4年3月23日から9月30日までの予定		駐車
霊園運営管理 12,047		墓地
施設管理費 650,509 施設事業費 71,060		老施
竜東維持管理費 50,004 遠山郷維持管理費 26,749		ケテ
収益的収入 13,809,200 収益的支出 14,449,900 資本的収入 1,502,500 資本的支出 2,467,900		病院
収益的収入 2,093,800 収益的支出 1,953,000 資本的収入 714,600 資本的支出 1,779,600		水道
収益的収入 3,702,000 収益的支出 3,386,000 資本的収入 1,373,000 資本的支出 2,967,000		下水
		特会
		計

令和4(2022)年度 一般会計 歳入 (主な内容と増減内訳)

区 分	予 算 額		(A)の 構成比	増 減	
	4年度(A)	3年度(B)		(A)-(B) (C)	(C)/(B)
1 市 税	13,104,000	12,152,000	27.4	952,000	7.8
2 地 方 譲 与 税	512,000	463,000	1.1	49,000	10.6
3 利 子 割 交 付 金	7,000	10,000	0.0	△ 3,000	△ 30.0
4 配 当 割 交 付 金	52,000	43,000	0.1	9,000	20.9
5 株 式 等 譲 渡 所 得 割 交 付 金	61,000	29,000	0.1	32,000	110.3
6 法 人 事 業 税 交 付 金	230,000	118,000	0.5	112,000	94.9
7 地 方 消 費 税 交 付 金	2,590,000	2,493,000	5.4	97,000	3.9
8 自 動 車 税 環 境 性 能 割 交 付 金	43,000	35,000	0.1	8,000	22.9
9 地 方 特 例 交 付 金	73,000	519,000	0.2	△ 446,000	△ 85.9
10 地 方 交 付 税	11,710,000	11,195,000	24.5	515,000	4.6
11 交 通 安 全 対 策 特 別 交 付 金	14,000	15,000	0.0	△ 1,000	△ 6.7
12 分 担 金 及 び 負 担 金	314,434	338,395	0.7	△ 23,961	△ 7.1
13 使 用 料 及 び 手 数 料	589,278	570,764	1.2	18,514	3.2
14 国 庫 支 出 金	6,612,095	6,401,886	13.8	210,209	3.3
15 県 支 出 金	3,099,496	3,389,769	6.5	△ 290,273	△ 8.6
16 財 産 収 入	313,875	390,229	0.7	△ 76,354	△ 19.6
17 寄 附 金	373,700	338,700	0.8	35,000	10.3
18 繰 入 金	1,390,476	1,182,067	2.9	208,409	17.6
19 繰 越 金	600,000	600,000	1.3	0	0.0
20 諸 収 入	2,387,046	2,392,590	5.0	△ 5,544	△ 0.2
21 市 債	3,673,600	4,793,600	7.7	△ 1,120,000	△ 23.4
合 計	47,750,000	47,470,000	100.0	280,000	0.6

主 内 容	増減(A)-(B)の主な内容	
市民税 5,739,000 (個人 4,973,000 法人 766,000) 固定資産税 5,629,000 都市計画税 670,000 軽自動車税 433,000 市たばこ税 630,000 入湯税 3,000	市税は現年課税分で比較 個人 466,000 法人 20,000 固定資産税 390,000 都市計画税 36,000 軽自動車税 32,000 市たばこ税 38,000	市税
地方揮発油 116,000 自動車重量 335,000 森林環境 61,000	自動車重量譲与税 25,000 森林環境譲与税 17,000	地譲
		利子
	配当割交付金 9,000	配当
	株式等譲渡所得割交付金 32,000	株式
	法人事業税交付金 112,000	法事
消費税率10%に引上げによる増収分1,412,727千円は全額を社会保障施策に充当 (充当内訳:社会福祉 841,875 社会保険 419,043 保健衛生 151,809)	地方消費税交付金 97,000	消費
	環境性能割交付金 8,000	環性
	感染症対策地方税減収補填特別交付金 △337,000	地特
普通交付税 10,710,000 特別交付税 1,000,000	普通交付税 515,000	地交
		交通
民生費負担金 269,928 (保育料等 177,396 老人福祉 81,848) 総務費負担金 27,436 (戸籍システム共同利用 17,511) 土木費負担金 14,855 (道路改良事業負担金)	データ放送システム共同利用負担金 4,934 民間保育所保護者負担金(現年度分) △27,919	分負
ごみ処理手数料 163,312 住宅使用料 142,253 休日夜間急患診療所使用料 67,847 道路河川占用料 37,500 斎苑使用料 19,753 地域振興住宅使用料 17,930 戸籍手数料 17,916 文化会館使用料 15,000 住民票手数料 12,960 公園使用料 9,500 建築確認手数料 9,375 地区公民館使用料 9,042	休日夜間急患診療所使用料 33,073 企業人材確保住宅使用料 1,870 地域振興住宅使用料 1,612 住宅使用料 △5,040 南信濃温泉交流施設使用料 △12,000	使手
【負担金】 民生費 4,339,885 (民間保育所 1,254,761 障がい児・者 1,228,820 児童手当 1,080,821 生活保護 542,927) 衛生費 170,764 (感染症ワクチン接種 107,312 保険基盤安定 63,452) 災害復旧費 50,025 (公共土木施設災害) 【補助金】 総務費 782,843 (リニア 671,210 コロナ地方創生臨時交付金 92,586 社会保険・税番号制度 10,399) 民生費 387,724 (重層的支援 153,843 民間保育所 127,431) 衛生費 53,954 (感染症ワクチン 31,646 環境保全 6,654 成人保健 5,905 母子保健 5,602) 商工費 2,070 (観光) 土木費 757,742 (道路510,638 橋りょう 128,700) 消防費 11,075 (災害対策) 教育費 37,394 (小・中学校 16,754 文化財保護 15,640)	社会資本整備総合交付金(街路事業) 413,325 交通安全対策補助金 187,000 感染症ワクチン接種負担金 107,312 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 92,586 社会資本整備総合交付金(道路整備) 92,308 道路メンテナンス事業補助金 40,700 感染症ワクチン接種体制確保事業補助金 31,646 個人番号カード交付事業費補助金 △31,453 児童手当負担金 △33,091 暮らし・にぎわい再生事業補助金 △200,000 防災・安全交付金(道路事業) △204,050 公共土木施設災害復旧事業負担金 △287,010	国費
【負担金】 民生費 1,716,923 (民間保育所 627,380 障がい児・者 597,509 児童手当 236,117 後期高齢者医療 223,430) 衛生費 212,851 (保険基盤安定) 【補助金】 総務費 8,477 (消費者行政活性化事業 4,017 就業移住支援金 3,000) 民生費 551,313 (医療費給付 219,288 民間保育所 126,270 重層的支援 68,622 地域子育て支援 50,854 老人福祉 37,300) 農林費 254,609 (農政対策 84,004 農業振興 83,813 林業振興 47,185 農地 22,350 国土調査 9,450 農業委員会 7,807) 【委託費】 総務費 245,686 (県民税 166,680 県知事・県議会・参議院選挙 72,217)	保育所等処遇改善臨時特例交付金 53,201 産地生産基盤パワーアップ事業補助金 38,500 農地利用効率化等支援交付金 33,134 知事選挙委託金 31,327 後期高齢者医療保険基盤安定事業負担金 26,856 重層的支援体制整備事業交付金 13,646 民有林林道改良事業補助金 △19,633 強い農業・担い手づくり総合支援交付金 △24,489 衆議院議員選挙委託金 △40,836 農業施設補助災害復旧事業補助金 △108,000 地域医療介護総合確保基金補助金 △277,731	県費
不動産売却収入 271,589 基金運用収入 28,172 財産貸付収入 13,456	建物売却収入 8,349 土地売却収入 △80,270	財産
ふるさと寄附金 362,000 工業振興寄附金 6,700 奨学資金 3,000	ふるさと寄附金 32,000	寄附
財調 340,000 減債 550,000 ふるさと 66,095 リニア 129,141 地域振興 120,278 森林経営管理 50,827 介護保険特別会計 43,236 過疎 41,634 教育支援 34,150	財調 80,000 減債 150,000 地域振興 120,278 社会福祉 △17,000 ふるさと △21,455 保健休養施設 △28,098 リニア △93,950	繰入
		繰越
貸付金元利収入 1,552,474 (商工制度資金 1,400,000 生活資金 130,000) 受託事業収入 237,809 (中央新幹線用地取得事務 116,104 分収造林 64,347) 雑入 593,468	分収造林受託事業収入 41,709 埋蔵文化財調査受託事業収入 14,850 JR東海負担金 △58,116	諸収
過疎対策事業債 111,600 公共交通体系 44,000 観光 18,900 林道 16,000 道路 11,000 その他 3,562,000 土木 1,285,900 教育 600,800 総務 530,600 消防 305,800 民生 157,800 農林 132,500 商工 63,100 衛生 63,100 災害復旧 22,400 臨時財政対策債 400,000	緊急防災・減災 317,800 公共事業等 201,700 地方道路等整備 114,400 過年発生補助災害 △186,600 公共施設等適正管理 △223,100 臨時財政対策 △1,390,000	市債

令和4(2022)年度 一般会計 目的別歳出 (主な内容と増減内訳)

区 分	予 算 額		(A)の構成比	増 減	
	4年度 (A)	3年度 (B)		(A)-(B) (C)	(C)/(B)
1 議 会 費	269,610	274,552	0.6	△ 4,942	△ 1.8
2 総 務 費	6,406,921	5,904,476	13.4	502,445	8.5
3 民 生 費	15,766,522	15,934,516	33.0	△ 167,994	△ 1.1
4 衛 生 費	5,155,863	4,739,560	10.8	416,303	8.8
5 労 働 費	205,059	232,337	0.4	△ 27,278	△ 11.7
6 農 林 水 産 業 費	1,235,050	1,127,265	2.6	107,785	9.6
7 商 工 費	2,537,281	2,875,955	5.3	△ 338,674	△ 11.8
8 土 木 費	5,158,810	4,815,225	10.8	343,585	7.1
9 消 防 費	1,512,090	1,530,788	3.2	△ 18,698	△ 1.2
10 教 育 費	4,276,301	4,376,744	8.9	△ 100,443	△ 2.3
11 災 害 復 旧 費	79,300	689,600	0.2	△ 610,300	△ 88.5
12 公 債 費	5,001,286	4,844,747	10.5	156,539	3.2
13 諸 支 出 金	105,907	84,235	0.2	21,672	25.7
14 予 備 費	40,000	40,000	0.1	0	0.0
合 計	47,750,000	47,470,000	100.0	280,000	0.6

主 内 容	増 減 の 主 な 内 容	
議会費 269,610	議員人件費 △2,959 事務局職員人件費 △1,834	議会
リニア駅周辺整備事業 1,177,546 リニア代替地整備事業 416,650 ふるさと飯田応援隊募集事業 206,057 住民情報システム管理費 177,482 市民バス等運行業務 170,337 総務一般管理費 164,460 情報管理費 131,627 地域自治支援事業 110,037 課税事務委託費 105,309 リニア推進事業 101,216 南信州広域連合負担金(一般会計) 99,433 情報セキュリティ対策事業 92,519 自治振興センター管理費 83,344 社会保障・税番号制度事業 39,559	リニア駅周辺整備事業 738,362 情報管理費 54,641 情報セキュリティ対策事業 42,201 知事選挙費 27,279 課税事務委託費 26,755 ふるさと飯田応援隊募集事業 22,679 ケーブルテレビ放送事業特別会計繰出金 19,383 住民情報システム管理費 △55,563 リニア代替地整備事業 △368,339	総務
民間保育所等運営費 2,705,008 介護保険特別会計繰出金 1,713,627 児童手当費 1,553,055 後期高齢者医療関係一般経費 1,200,000 総合支援介護給付事業 1,124,428 総合支援訓練等給付事業 792,591 生活保護措置費 723,903 障害児通所支援費 413,929 児童扶養手当費 390,534 養護老人ホーム措置事業 336,135 後期高齢者医療特別会計繰出金 322,166 障害者医療費給付事業 267,786	生活保護措置費 41,736 地域包括支援センター運営事業 31,304 後期高齢者医療特別会計繰出金 25,932 ともに未来を支え合うパートナーづくり事業 17,065 総合支援訓練等給付事業 16,053 ふれあいの郷管理運営費 15,074 地域子育て支援拠点事業 14,455 老人福祉一般経費 △51,386 介護医療院整備補助事業 △277,731	民生
病院事業会計負担金 1,372,542 国民健康保険特別会計繰出金 546,442 南信州広域連合負担金(焼却場) 471,500 水道費 350,105 ごみ収集処理費 306,148 予防接種事業 291,552 感染症予防接種事業 109,936 ごみ減量対策費 107,428 南信州広域連合負担金(竜水園) 95,281 妊婦健診事業 91,999 がん検診事業 74,811	感染症予防接種事業 109,936 予防接種事業 92,054 水道費 56,341 南信州広域連合負担金(焼却場) 24,737 感染症感染拡大予防対策事業 24,384 ごみ減量対策費 14,900 保健施設管理費 12,583 千代診療所運営費 10,874 ごみ収集処理費 6,293 合併処理浄化槽普及促進事業 3,619 青壮年期における健康づくり事業 1,993	衛生
勤労者協調融資事業 130,000 勤労者福祉センター管理費 20,941 飯田勤労者共済会補助事業 12,840 労働諸費 7,734	労働諸費 △4,803 勤労者協調融資事業 △20,000	労働
市単土地改良事業 113,043 排水路防災対策整備事業 65,000 分収造林事業 64,347 農業基盤整備資金償還補助事業 54,206 国土保全特別対策事業 52,392 果樹・野菜等振興事業 49,671 林道改良事業(補助) 46,700 意欲ある農業者支援事業 40,561 森林経営管理事業 36,549 農作物鳥獣被害対策事業 36,514 中山間地域等直接支払事業 33,786 森林病虫害対策事業 28,936	排水路防災対策整備事業 65,000 分収造林事業 41,709 果樹・野菜等振興事業 33,206 防災重点農業用ため池緊急整備事業 12,000 森林病虫害対策事業 9,675 森林造成事業 9,156 林道開設事業 △24,134 林道改良事業(補助) △41,975	農林
中小企業金融対策事業 1,523,299 産業用地整備事業 175,263 工業振興一般経費 98,448 地域産業等振興事業 61,530 天龍峡活性化事業 51,150 上村観光施設管理費 40,272 企業立地促進事業補助金 37,500 観光施設管理費 35,169	産業用地整備事業 69,307 天龍峡活性化事業 30,625 中小企業金融対策事業 22,099 観光まつり振興事業 14,800 南信濃温泉交流施設管理費 △37,981 中心市街地活性化推進事業 △394,852	商工
下水道費 1,534,800 社会資本整備総合交付金事業(道路整備) 554,816 交通安全対策補助事業費(通学路緊急対策) 340,000 道路メンテナンス事業 238,989 道路舗装補修事業 229,124 公営住宅整備事業費(補助) 227,810 道路補修事業 219,641 県街路事業地元負担金 132,055 市道改良事業 104,471 防災対策避難路整備事業 96,000 除雪費 92,306	交通安全対策補助事業(通学路緊急対策) 340,000 社会資本整備総合交付金事業(道路整備) 175,116 道路メンテナンス事業 73,996 公園改修事業 61,098 県街路事業地元負担金 48,755 県道路事業等負担金 47,950 飯倉道路関連事業(単独) 24,000 道整備交付金事業 △52,000 防災・安全交付金事業(通学路安全対策) △371,000	土木
南信州広域連合負担金(消防) 915,115 防災対策推進事業 229,453 消防団運営事業 174,119 消防団詰所整備事業 51,575 消防体制強化整備事業(単独) 31,606	防災対策推進事業 21,240 消防団詰所整備事業 16,991 消防体制強化整備事業(単独) 13,608 南信州広域連合負担金(消防) △67,686	消防
学校施設大規模改修事業(小・中) 263,427 調理業務委託費 189,456 情報通信技術活用教育推進事業(小・中) 186,832 学校管理一般経費(小・中) 172,087 公民館管理・運営費 168,434 学校教育振興事業(小・中) 159,835 体育施設改修費 146,522 体育施設管理費 130,982 学校給食事業 105,954 図書館管理・運営費 83,315	体育施設改修費 131,085 社会体育学校開放施設整備費(単独) 78,738 公民館管理・運営費 58,667 学校施設大規模改修事業(小・中) 47,027 事務局費 36,890 公民館改修事業 23,966 学校施設改修費(小・中) 13,483 文化会館施設整備事業 △46,302 中学校空調設備整備事業 △445,200	教育
農業施設等単独災害復旧事業 75,000 土木施設単独災害復旧事業 2,000	過年発生農業施設補助災害復旧事業 △180,000 土木施設補助災害復旧事業 △430,300	災害
長期債元金 4,863,127 長期債利子 136,159	元金 190,771 利子 △34,232	公債
新規積立金 89,111 (森林経営管理基金 61,000 中山間地域振興基金 28,061)	新規積立金 25,349 基金利子積立金 △3,677	諸支
		予備

令和4(2022)年度 一般会計 性質別歳出 (主な増減内訳)

	4年度予算額		3年度予算額		増 減	
	(A)	構成比	(B)	構成比	(A)-(B) (C)	(C)/(B)
1 人 件 費	7,815,554	16.4	7,720,749	16.3	94,805	1.2
2 扶 助 費	8,945,341	18.6	8,978,870	18.9	△ 33,529	△ 0.4
3 公 債 費	5,001,286	10.5	4,844,747	10.2	156,539	3.2
小 計	21,762,181	45.5	21,544,366	45.4	217,815	1.0
4 物 件 費	5,516,250	11.6	5,013,817	10.6	502,433	10.0
5 維 持 補 修 費	763,923	1.6	693,706	1.5	70,217	10.1
6 補 助 費 等	7,076,621	14.8	6,886,163	14.5	190,458	2.8
7 積 立 金	110,310	0.2	88,810	0.2	21,500	24.2
8 投 資・出 資 金	477,009	1.0	505,359	1.1	△ 28,350	△ 5.6
9 貸 付 金	1,555,214	3.3	1,574,214	3.3	△ 19,000	△ 1.2
10 繰 出 金	3,952,659	8.3	3,908,870	8.2	43,789	1.1
11 投 資 的 経 費	6,495,833	13.6	7,214,695	15.1	△ 718,862	△ 10.0
補 助	3,136,749	6.6	3,450,237	7.2	△ 313,488	△ 9.1
単 独	3,359,084	7.0	3,764,458	7.9	△ 405,374	△ 10.8
普通建設費	6,416,533	13.4	6,525,095	13.7	△ 108,562	△ 1.7
補 助	3,061,749	6.4	2,764,937	5.8	296,812	10.7
単 独	3,354,784	7.0	3,760,158	7.9	△ 405,374	△ 10.8
災害復旧費	79,300	0.2	689,600	1.4	△ 610,300	△ 88.5
補 助	75,000	0.2	685,300	1.4	△ 610,300	0.0
単 独	4,300	0.0	4,300	0.0	0	0.0
12 予 備 費	40,000	0.1	40,000	0.1	0	0.0
合 計	47,750,000	100.0	47,470,000	100.0	280,000	0.6

増減の主な内容		
会計年度任用職員人件費 101,918 退職手当 97,763 認定こども園人件費 △15,826 職員給(会計年度任用職員分を除く) △67,567		人件
生活保護措置費 42,833 総合支援訓練等給付事業 16,053 障害児通所支援費 13,231 児童扶養手当 △20,418 民間保育所等運営負担金 △46,213 児童手当 △47,600		扶助
元金 190,771 利子 △34,232		公債
感染症予防接種事業 108,088 予防接種事業 91,655 情報管理費 54,222 公民館管理・運営費 51,395 分収造林事業 41,709 情報セキュリティ対策事業 40,166 社会保障・税番号制度事業 37,570 地域包括支援センター運営事業 31,304 課税事務委託費 26,755		物件
道路メンテナンス事業 30,000 道路舗装補修事業 16,588 橋りょう補修事業 13,823 林道管理事業 6,706 地域振興住宅管理費 2,400 体育施設改修費 △1,874 森林経営管理事業 △2,110		維持
病院事業負担金 65,714 民間保育所等保育士・幼稚園教諭等処遇改善臨時特例交付金 52,307 果樹・野菜等振興事業 38,506 教育支援基金特別給付金 34,050 南信州広域連合負担金(焼却場) 24,737 中小企業金融対策事業 22,099 ともに未来を支え合うパートナーづくり事業 17,500 南信州広域連合負担金(消防) △67,686		補助
森林経営管理基金 17,091 中山間地域振興基金 8,369 庁舎建設基金 △4,947		積立
水道事業出資金 39,250 病院事業出資金 △67,600		投資
奨学金貸与事業 1,080 勤労者協調融資事業 △20,000		貸付
後期高齢者医療特別会計繰出金 25,932 ケーブルテレビ放送事業特別会計繰出金 19,383 後期高齢者医療広域連合負担金 3,420 介護保険特別会計繰出金 △1,526 介護老人保健施設事業特別会計繰出金 △4,725		繰出
		投資
		補助
		単独
		普建
リニア駅周辺整備事業 768,527 交通安全対策補助事業(通学路緊急対策) 340,000 社会資本整備総合交付金事業(道路整備) 175,116 改築補助事業 9,000 民間保育所等施設整備事業 △35,037 林道改良事業 △41,975 道整備交付金事業 △52,000 リニア代替地整備事業 △119,244 防災・安全交付金事業(通学路安全対策) △371,000 中心市街地活性化推進事業 △400,000		補助
体育施設改修費 132,959 中学校施設大規模改修事業 86,232 社会体育学校開放施設整備費 78,460 産業用地整備事業 69,307 排水路防災対策整備事業 65,000 公園改修事業 61,098 図書館管理・運営費 40,132 飯番道路関連事業(単独) 24,000 公民館改修事業 23,497 天龍峡活性化事業 20,194 消防団詰所整備事業 16,588 児童館・児童センター・児童クラブ運営費 16,300 辺地対策道路改良事業 15,000 南信濃観光施設管理費 13,662 介護医療院整備補助事業 △277,731 リニア代替地整備事業 △359,507 中学校空調設備整備事業 △445,200		単独
		災害
過年発生農業施設補助災害復旧事業 △180,000 土木施設補助災害復旧事業 △430,300		補助
		単独
		予備

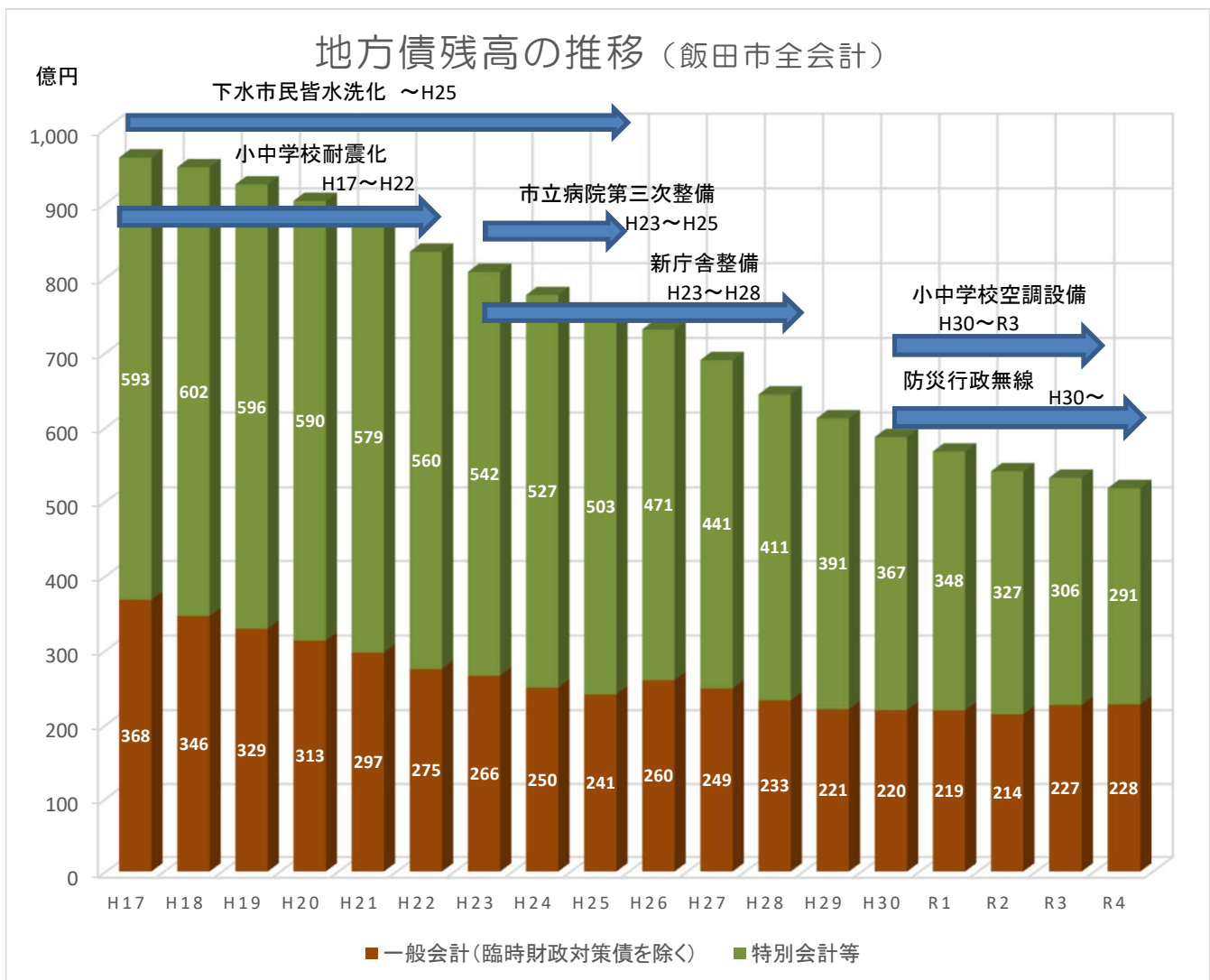
4 地方債残高の推移

(単位:百万円)

区 分	H29決算	H30決算	R1決算	R2決算	R3見込	R4当初
1 一般会計	42,158	42,342	42,041	41,224	42,473	41,284
(1) 臨時財政対策債	20,054	20,365	20,199	19,811	19,814	18,531
(2) (1)を除く地方債	22,104	21,977	21,842	21,413	22,659	22,753
2 特別会計等	39,095	36,714	34,827	32,707	30,598	29,108
(1) 介護老人保健施設事業	0	0	0	0	15	31
(2) ケーブルテレビ放送事業	12	0	0	0	0	0
(3) 病院事業	6,279	5,505	5,219	5,022	4,895	5,002
(4) 水道事業	7,348	7,448	7,478	7,327	7,053	6,990
(5) 下水道事業	25,457	23,761	22,130	20,358	18,635	17,085
飯田市合計	81,253	79,056	76,868	73,931	73,071	70,392
臨時財政対策債を除く計	61,199	58,691	56,669	54,120	53,257	51,861
臨時財政対策債を除く対前年度比	△ 3,215	△ 2,508	△ 2,022	△ 2,549	△ 863	△ 1,396

※表示単位未満四捨五入。各項目と合計は一致しない場合があります。

令和10年度末に一般会計地方債(臨時財政対策債を除く)を300億円以内に抑制することを財政運営目標としています。



5 基金残高の推移

(単位:百万円)

区 分	H29決算	H30決算	R1決算	R2決算	R3見込	R4当初
1 財政調整目的基金	4,354	4,033	4,146	3,968	5,593	4,716
(1) 財政調整基金	1,770	1,375	1,479	1,287	1,011	671
(2) 減債基金	1,467	1,471	1,476	1,484	1,535	990
(3) 公共施設等整備基金	1,117	1,187	1,191	1,197	3,047	3,055
財政調整目的基金対前年度比	△ 394	△ 321	113	△ 178	1,625	△ 877
2 その他特定目的基金	7,744	7,608	7,690	7,668	5,485	5,128
(1) ふるさと基金	1,043	1,032	1,125	1,169	1,079	1,016
(2) 庁舎建設基金	1,865	1,827	1,832	1,842	0	0
(3) 地域振興基金	2,228	2,228	2,228	2,228	2,228	2,107
(4) リニア中央新幹線 飯田駅整備推進基金	1,815	1,782	1,694	1,618	1,392	1,267
(5) その他	793	739	811	811	786	738
3 定額基金	1,582	1,582	1,582	1,582	1,582	1,582
基金合計	13,680	13,223	13,418	13,218	12,660	11,426
対前年度比	△ 316	△ 457	195	△ 200	△ 558	△ 1,234

※表示単位未満四捨五入。各項目と合計は一致しない場合があります。

庁舎建設基金は令和3年度中に公共施設等整備基金に積み替える予定。

令和10年度末に財政調整目的基金(財政調整基金、減債基金、公共施設等整備基金)の残高を27億円程度(標準財政規模の10%)確保することを財政運営目標としています。

